

グローバル関係融合研究センター キックオフ・シンポジウム

『グローバル世界と日本の現在と未来を考える』2017.6.1 THU

千葉大学は、2017年4月、「グローバル関係融合研究センター」を設立しました。これは、文部科学省科学研究費助成事業「新学術領域研究」である「グローバル秩序の溶解と新しい危機を超えて：関係性中心の融合型人文社会科学の確立」が採択されたことを契機とし、千葉大学における初めての人文社会科学系の全学研究センターとして設置されたものです。

本シンポジウムは、「グローバル関係融合研究センター」開所を記念して、本学卒業生である渡辺雅隆朝日新聞社代表取締役社長をお招きし、講演いただきます。また後半は、アジア、西欧、中東問題の専門家たちが、現下の「グローバルな危機」を読み解くパネルディスカッションを行います。みなさまの積極的なご来場を、お待ちしております。

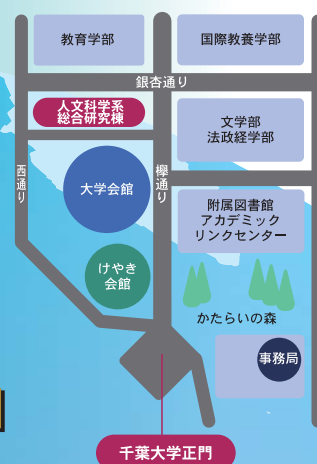
日時：2017年6月1日（木）14:30～18:00

場所：千葉大学 けやき会館大ホール（西千葉キャンパス）

会場アクセス：http://www.chiba-u.ac.jp/campus_map/nishichiba/index.html

最寄り駅：京成千葉線「みどり台」駅より徒歩10分／

JR 総武線「西千葉」駅より徒歩10分



基調講演 朝日新聞社社長 渡辺 雅隆氏（千葉大学卒）

「国際社会と日本の課題 ジャーナリストの役割とは」

パネルディスカッション

「グローバルな危機にどう対処するか：欧米、アジア、中東の視点から」

◆◇プログラム◆◇

14:00 開場

14:30 開演

14:45 基調講演 渡辺 雅隆氏（朝日新聞社代表取締役社長）



「国際社会と日本の課題 ジャーナリストの役割とは」

世界の混迷が深まるなか、日本の先行きも不透明感が増しています。この時代の「羅針盤」となるために、新聞というメディアがなにをしているのかを、語っていただきます。

15:45 休憩

16:05 パネルディスカッション

司会：大石 亜希子（グローバル関係融合研究センター 副センター長／法政経学部教授）

報告：水島 治郎（グローバル関係融合研究センター／法政経学部教授）

（欧米）「ポピュリズムの拡大、岐路に立つ先進デモクラシー」

石戸 光（グローバル関係融合研究センター／法政経学部教授）

（アジア）「トランプ政権とアメリカ・ファーストの影響」

酒井 啓子（グローバル関係融合研究センター長／法政経学部教授）

（中東）「内戦、「イスラーム国」の果てにあるもの」

18:00 閉会

お申込み方法

一般参加希望者（学外）：http://www.shd.chiba-u.jp/glbcrss/activities/kickoff_sympto.html にて申し込みフォームより

お申込みください。なお、会場の都合上、満席になりましたら締め切らせていただきます。

千葉大学 学生・教職員：当日会場にて、学生証・職員証をご提示ください。会場の都合上、先着順とさせていただきます。



千葉大学 CHIBA UNIVERSITY
「グローバル関係融合研究センター」
Center for Relational Studies
on Global Crises, Chiba University